

2 | アフリカの歴史と文化

○植民地支配の歴史

アフリカの歴史

10 世紀ごろ:イスラム教徒の商人との交易

→金などの資源や象牙などの珍しい産物の交易

16 世紀:ヨーロッパ人によって、多くの人々が(奴隷)として南北アメリカ大陸へ

→アフリカの人口が減少

19 世紀後半から 20 世紀前半:アフリカ州のほとんどがヨーロッパ諸国の(植民地)として分割

例) セネガル:フランスの旧植民地。フランス語を使い、教育や食文化にも影響が見られる

※(植民地)とは、他の国に支配された地域のこと。植民地となった地域は、さまざまな権利が本国に奪われ、
本国の人々によって開発された

○多様な民族が暮らすアフリカ

アフリカの民族

→多くの民族が暮らし、地域独自の食習慣や民族音楽などを育む

アフリカの言語・宗教

〔サハラ砂漠の北側:主にアラビア語が話され、多くの人々がイスラム教を信仰

〕サハラ砂漠の南側:民族によってさまざまな言語を使用、キリスト教を信仰する人々も多数存在

1960 年代:アフリカの植民地の多くが独立(特に 1960 年は、「アフリカの年」と呼ばれる)

→植民地時代の境界がそのまま国境となる国が多く、国内の地域によっては、民族や言語・宗教が異なる国もある

○政治的・経済的団結を目指して

(アフリカ連合(AU))とは、アフリカの 55 の国と地域が加盟する国際機関のこと

→アフリカ諸国や国民間の団結、政治・経済・社会的な統合、平和や安全保障を目的に発足

○和解と協調を進める南アフリカ共和国

(南アフリカ共和国) 首都:プレトリア

(アパルトヘイト(人種隔離政策))によって、少数の白人が多数の黒人を支配

→1994 年に選挙が行われ、黒人のネルソン・マンデラが大統領になり、アパルトヘイトは廃止